

一橋陸上競技倶楽部理事会議事録

日時 : 平成28年2月2日(火) 18:30~20:45

場所 : 如水会館14F

出席者(敬称略):

(理事) 青木、池田、岩瀬、浜田、平田、坂田、田島、中村(龍)、伊丹、若菜、中村(英)

(監事) 後藤

議題:

I. 前回の決議事項の承認

前回(平成27年12月1日)の理事会は、出席理事数が定足数不足で理事会としての決議ができなかったため、下記の決議事項を今回再度審議し、承認された。

(1) 「一橋大学後援会課外教育振興基金運営要領」

基金(陸上競技部)への寄付金を有効に使用するための運営要領

(2) 箱根駅伝予選会の学内新樹立の表彰

学内新樹立を表彰して盾を贈呈し、部室に飾る。今後も予選会・学内新の場合は、同様に行う。

II. 今回の議題

(1) H27決算・H28予算案について

平田理事(会計担当)から、一般会計収支計算書(平成27年度決算、平成28年度予算)案について、説明があり、承認された。主な説明は次の通り。

決算としては、年会費収入は予算310万円に対して、313万円。特別会計の補助は、全日インカレ出場者がなかったことなどによる対抗戦費用の減少などで、100万円の予算に対し60万円ですんだ。現役補助は予算330万円に対し309万円。会員部門はコーチ交通費が少なかったなどの影響で、予算より14万円ほど少なかった。結果として繰越金は、25万円余りであった。

予算としては、年会費は昨年並みの69%の納付率で、315万円。特別会計から50万円補助。収入合計は、431万円。支出としては、現役補助は、今年は沖縄合宿がないので、274万円、会員部門は120万円、支出合計は394万円、繰越金は、36万円余り。器具備品費9万円は、後援会への寄付金で賄う予定。

特別会計資産としては、一般会計への補助60万円、グローバルソブリンの評価差額123万円などで、特別会計資産期末残高は30,292,268円である。

後援会(陸上競技部)への寄付金の期末残高は、225,691円である。

<コメント>

後期繰越金という表現は次期繰越金に改めるべきである。

グローバルソブリン評価差額123万円の説明を準備しておくべきである。

学生側からの要望に基づき、後援会への寄付金の中から約8万円を備品購入のために払い出す予定である旨、平田理事から報告があり、了承された。

(2) 会則変更について(池田幹事長)

池田幹事長から会則の変更案の説明があり、承認された

主な変更点は次の通り。

総会、理事会の会員の意思表示方法として電磁的方法（電子メールを含む）を付け加えた。
<コメント>委任と議決権の行使の関係を明確にする。メールで修正案を提示する

(3) 役員改選について（青木会長）

4月以降の役員改正案について青木会長から説明があり、了承された。

一部交渉中の新理事については、早急に方向を決め、会員への総会送付資料に反映することとなった。

(4) 総会について（池田幹事長）

①式次第・懇親会概要

川口部長から加納部長への部長交代は報告事項とする

会則変更は、池田理事が説明する。

去年より5分長い総会となる。

都留杯は風戸君、準都留杯は熊谷さん、水上杯は山上君である。

箱根駅伝予選での学内新の表彰は、樹立に寄与した10名が対象である。

会員活動報告は、西脇さん（昭和63年入学・弁護士）に依頼している。（仮題：スポーツと法律）

②役割分担

総会は現体制、懇親会は新体制のメンバーですすめることとする。

(5) 総会案内の送付内容について（岩瀬副幹事長）

岩瀬副幹事長から総会案内資料8点の説明があった。

(6) その他（池田幹事長）

①川口部長交代

後任は、加納隆先生である。

②塩野谷先生「お別れ会」

お別れ会（2月11日）に、陸上部からは青木さん以下6名出席の予定である。

③津田OG会との連携について

津田塾部員は増加しているが、会員（Ⅱ）の入会希望者、会費納入も少ない現状を踏まえ、今後の在り方、学生への支援について、津田OG会と協議している。次回理事会で結果報告をする予定。

④今後のスケジュール

3月2日（水）総会準備のための理事会

3月17日（木）総会・懇親会

3月24日（木）新理事体制による理事会

以上

添付資料

- (1) 一橋大学後援会課外教育振興基金運営要領・チャート図
- (2) 一般会計収支計算書（平成27年度決算、平成28年度予算）
- (3) 2015年12月資産状況
- (4) 会則変更案

平成 年 月 日

会 長